交付運用報告書

日米4資産スマートバランス(DC年金)<一つである。 <愛称> きんとう君(DC年金)

追加型投信/内外/資産複合

作成対象期間:2018年1月10日~2019年1月8日

第 5 期 決算日:2019年 1 月 8 日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。 当ファンドは、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引、先進国の公社債等への投資を通じて、信託財産の着実な成長を図ることを目的とします。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し 上げます。

第5期末	2019.1.8	
基準価額	10,304円	
純資産総額	10百万円	
騰落率*	△2.4%	
期中分配金合計	t 0 m	

※ 騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投 資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用報告書(全体版)の閲覧方法



https://www.sjnk-am.co.jp/にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、 閲覧またはダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

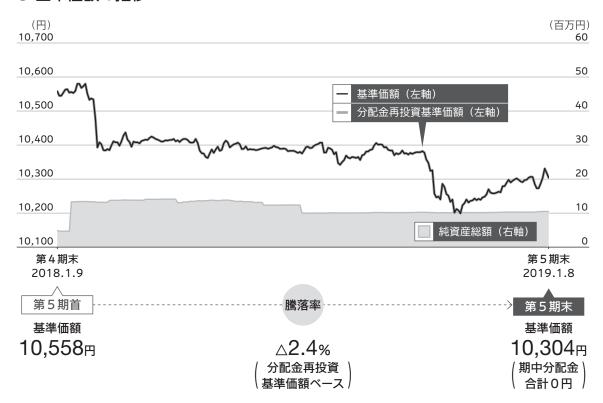
東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル お問い合わせ先: クライアントサービス第二部





0120-69-5432

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年1月9日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の 実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引を主要取引対象とし、先進国の公社債等を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

○ 日米4資産スマートバランス(DC年金)

日米4資産スマートバランス マザーファンドとマネープールマザーファンドを概ね50%ずつ保有 しました。日米4資産スマートバランスマザーファンドの基準価額が下落したことから、当ファンド の基準価額は下落しました。

→ 日米4資産スマートバランス マザーファンド

期中の騰落率は-3.5%となりました。保有する国内株式先物、米国株式先物の価格が下落した ことから、基準価額は下落しました。

マネープールマザーファンド

期中の騰落率は0.05%となりました。期中で保有していた短期社債の金利収入を主要因として、 基準価額は小幅ながらプラスとなりました。

● 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。





😂 ベビーファンド 💍 マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

期中の1万口当たりの費用の割合は 0.744% です。

項目	第5期 2018.1.10~2019.1.8		項目の概要		
	金額	上率 上率			
(a)信託報酬	73円 0.700%		(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率(年率)× <u>期中の日数</u> 年間の日数		
(a) Indolinani		011.0070	期中の平均基準価額は10,372円です。		
(投信会社)	(34)	(0.323)	ファンドの運用の対価		
(販売会社)	(34)	(0.323)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理等の対価		
(受託会社)	(6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価		
(b) 売買委託手数料 2 0.017		0.017	(b)売買委託手数料= 期中の売買委託手数料 期中の平均受益権口数		
			有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料		
(先物・オプション)	(2)	(0.017)			
(c) その他費用	3	0.027	(c)その他費用= <u>期中のその他費用</u> 期中の平均受益権口数		
(保管費用)	(0)	(0.000)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用		
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用		
(その他)	(2) (0.023)		信託事務の処理にかかるその他の費用等		
合計 78 0.744		0.744			

- 注1. 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要 の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザー ファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- 注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- 注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2014.1.8~2019.1.8



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額(10,000円)をもとに委託会社にて指数化したものを使用しており ます。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の 実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引を主要取引対象と し、先進国の公社債等を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しな いため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2014.8.28 設定時	2015.1.8 決算日	2016.1.8 決算日	2017.1.10 決算日	2018.1.9 決算日	2019.1.8 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,963	9,954	10,174	10,558	10,304
期中分配金合計(税引	前) (円)	_	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	_	△ 0.4	△ 0.1	2.2	3.8	△ 2.4
純資産総額	(百万円)	0.1	4	3	1	4	10

● 投資環境

○国内株式市場

国内株式は下落しました。

2018年2月初めには、米国株式下落に起 因する世界的なリスク回避傾向の高まりや、円 高進行を背景に下落しました。

その後、米国株式は持ち直したものの、国内景気は減速感が台頭し国内株式は横ばい圏で推移しました。

10月に入ると、米国株式が下落したことや、 中国経済減速への警戒が日本企業の業績下方 修正懸念につながったことなどから、大幅下落 しました。

○米国株式市場

米国株式は下落しました。

2018年2月に利上げ観測が一段と高まり、 長期金利が4年ぶりの水準まで上昇すると、 株価は大きく下落しました。

その後、好調な米国企業業績や堅調な経済 指標の発表などを背景に米国株式は上昇基調 で推移しました。

しかし、10月に入ると、利上げ観測が加速 し、リスク回避姿勢が強まったことや、米中貿 易摩擦による来年以降の景気減速および企業 業績の悪化懸念などを背景に、大幅下落しま した。





○国内債券市場

国内債券の利回りは低下(価格は上昇)し ました。

2018年7月に日銀が長期金利について誘 導目標の柔軟化を検討するとの報道をきっか けに、金利は長期・超長期ゾーンを中心に上 昇しました。実際に、日銀は、7月末に長期 金利の許容変動幅を従来より拡大する意向を 示しました。

しかしその後、国内外の株式が大幅に下落 し、原油価格も下落に転じると、利回りは11 月以降低下基調に転じました。

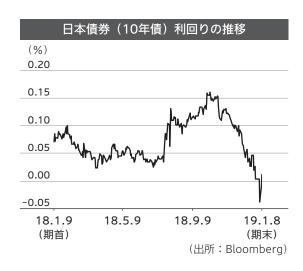
利回りは期末には0.01%台となり、期末の 水準は期初比で低下しました。

○米国債券市場

米国債券の利回りは上昇(価格は下落)し ました。

期初に2.5%近傍であった米国10年国債の 利回りは、2017年末に減税策が決定し景気 堅調期待が高まったことや、原油価格の上昇 を受けて、利上げ観測が加速されたことから上 昇基調となり、一時3.2%台まで上昇しました。

しかし2018年11月以降、米中貿易摩擦に よる来年以降の景気減速および企業業績の悪 化懸念などを背景に米国株式が大幅に下落し たことや、期待インフレ率が低下したことなど から利回りは低下基調に転じ、期末には2.7% 台となりました。





● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、期を通じて、「日米4資産スマートバランスマザーファンド」および「マネープールマザーファンド」への投資比率を、概ね各50%に維持しました。

日米4資産スマートバランス(DC年金)の 組入ファンドの比率

	純資産比
日米4資産スマートバランス マザーファン	ド 49.6%
マネープールマザーファンド	49.3%

注. 比率は、第5期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

В 日米4資産スマートバランス マザーファンド

当ファンドの方針通り、月次で各資産のリス クウェイトが均等になるように、各資産の構成 比率を調整しました。

ただし2月は、5日の終値ベースで米国株式市場の緊張度の高まりを示す指標が当ファンドの基準値に達しました。そのため、6日に、米国株式のリスクウェイトを引き下げ、他の3資産のリスクウェイトに上乗せした上で、改めて他の3資産のリスクウェイトが均等になるようにリバランスしました。

日米4資産スマートバランス マザーファンドの資産別配分比率

先物		純資産比
	国内株式先物	3.5%
	米国株式先物	4.4%
	国内債券先物	127.1%
	米国債券先物	65.1%

注. 比率は、第5期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

3月初に、市場の緊張度は平常時に戻ったと判断し、3月以降は通常通りのリバランスを行いました。

ネープールマザーファンド

当ファンドは、期中の解約による純資産規模縮小に伴い、保有社債を全額売却しました。期末時点では、コール等の短期金融資産による運用を行っております。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、米国と日本の株価指数先物取引および債券先 物取引を主要取引対象とし、先進国の公社債等を主要投資対象とするファンドです。そのため、当 ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載してお りません。

● 分配金

当期は基準価額の水準および商品設計等を総合的に勘案した結果、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第5期 2018.1.10~2019.1.8		
当期分配金	_		
(対基準価額比率)	-%		
当期の収益	_		
当期の収益以外	_		
翌期繰越分配対象額	308		

- 注1.「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- 注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。
- 注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

● 今後の運用方針

○ 日米4資産スマートバランス(DC年金)

今後も、「日米4資産スマートバランス マザーファンド」および「マネープールマザーファンド」 を概ね各50%程度の比率で組入れて運用し、信託財産の着実な成長を目指します。

→ 日米4資産スマートバランス マザーファンド

原則として月次で各資産のリスクウェイトが均等になるように、各資産の構成比率を調整します。 なお、当ファンド独自の基準に基づいて、市場の緊張度が高まったと判断した場合等には、月中 においても各資産の構成比率の調整を行うことにより、ファンドの価格下落リスクの抑制を図ります。

ネマネープールマザーファンド

安全性、流動性の高いコール等の短期金融資産による運用を行う方針です。

● お知らせ

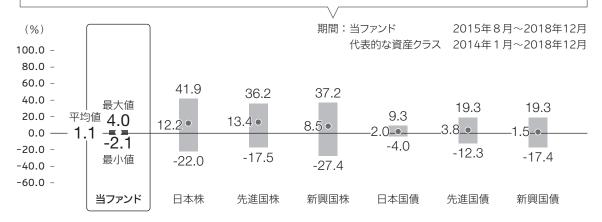
公告の方法を「日本経済新聞に掲載」から「電子公告」へ変更するため、投資信託約款に所要 の変更を行いました(2018年1月15日)。

● 当該投資信託の概要

—————————————————————————————————————	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目的とします。
	■ 日米 4 資産スマートバランス (D C 年金) 日米 4 資産スマートバランス マザーファンド受益証券およびマネープールマザーファンド受益証券
主要投資対象	日米4資産スマートバランス マザーファンド 主要取引対象:米国およびわが国の株価指数先物取引および債券先物取引 主要投資対象:残存期間の短い先進国の公社債等
マネープールマザーファンドわが国の公社債等① □ ※ 4 資産ファートバランフ マザーファンド 受益証券 お上が マネー・	
運用方法	 ①日米4資産スマートバランス マザーファンド受益証券およびマネープールマザーファンド受益証券への投資を通じて信託財産の着実な成長を目指します。 ②日米4資産スマートバランス マザーファンド受益証券は、株価指数先物取引および債券先物取引等の買建額の時価総額の合計が、原則として当該マザーファンドの信託財産の純資産総額の2倍程度となるよう調整を行います。原則として、ポートフォリオ全体へのリスク寄与度が概ね均等となるように、各資産の組入比率を調整するリスク・パリティ運用を基本とし、1) エンハンス・モデル、2) フロアの設定、3) 下方偏差の利用という3つの仕組みを追加することにより、下落リスクを低減しつつ、安定した収益の確保を目指します。 ③各マザーファンド受益証券への投資比率は、概ね50:50とします。 ④実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替へッジを行います。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご留意ください。



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的 な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

- ※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
- 当ファンドについては、分配金(税引前)再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関しての詳細は18~19ページをご参照ください。

当該投資信託の組入資産の内容

※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

組入ファンド

	第5期末 2019.1.8
日米4資産スマートバランス マザーファンド	49.6%
マネープールマザーファンド	49.3%

注. 比率は第5期末における純資産総額に対する評価額の割合です。



注、比率は第5期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

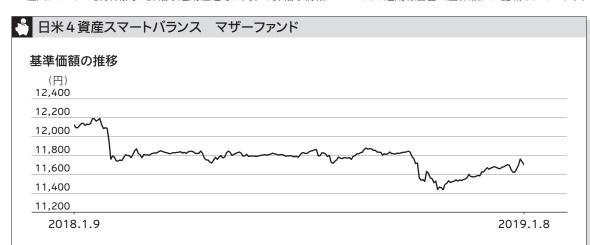
純資産等

項目	第5期末 2019.1.8			
純資産総額	10,468,844円			
受益権総口数	10,159,784□			
1万口当たり基準価額	10,304円			

※ 当期中における追加設定元本額は10,671,858円、同解約元本額は5,139,485円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書(全体版)に記載されています。

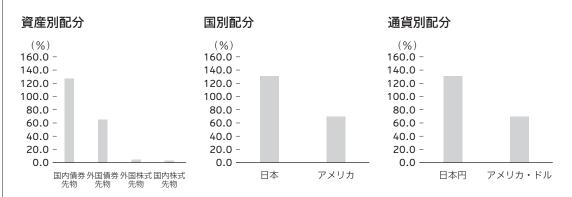


1万口当たりの費用明細

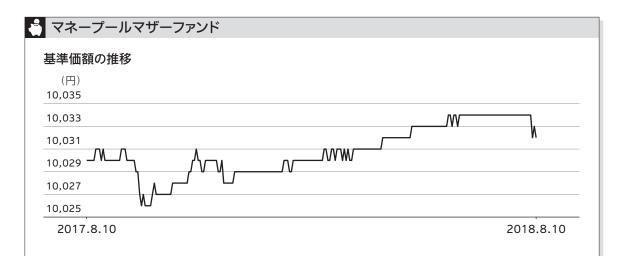
百口	2018.1.10~2019.1.8			
項目	金額	比率		
売買委託手数料	4円	0.035%		
(先物・オプション)	(4)	(0.035)		
その他費用	4	0.031		
(保管費用)	(0)	(0.000)		
(その他)	(4)	(0.031)		
合計	8	0.066		
期中の平均基準価額は11,783円です。				

組入上位10銘柄

		業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	長期国債標準物先物	債券先物 (買建)	日本円	日本	127.1%
2	10y T-Note	債券先物(買建)	アメリカ・ドル	アメリカ	65.1%
3	E-mini 500	株式先物(買建)	アメリカ・ドル	アメリカ	4.4%
4	東証株価指数先物	株式先物(買建)	日本円	日本	3.5%
5	_	_	_	_	_
6	_	_	_	_	
7	_	_	_	_	_
8	_	_	_	_	_
9	_	_	_	_	_
10	_	_	_	_	_
	組入銘柄数		4 銘柄		



- 注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
- 注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ (1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。
- 注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2019年1月8日) 現在のものです。
- 注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



1万口当たりの費用明細

項目	2017.8.11~2018.8.10		
その他費用	0円		
(その他)	(0)		
合計	0		

組入上位10銘柄

	銘柄名	債券種類	償還日	比率
1	7 東京三菱BK劣後	社債券	2019/12/20	7.7%
2	7 みずほコーポ劣後	社債券	2019/6/3	7.6%
3	1 森林総合研究所	社債券	2018/12/20	7.5%
4	455 東京電力	社債券	2018/10/23	7.5%
5	17 大和証券G本社	社債券	2019/8/28	7.5%
6	5 大日本住友製薬	社債券	2018/9/7	7.5%
7	6 オリエントコーポレーシヨン	社債券	2019/1/22	7.5%
8	64 アコム	社債券	2018/9/5	7.5%
9	28 住友金属鉱山	社債券	2018/8/31	7.5%
10	8 LIXILグループ	社債券	2019/8/30	7.5%
組入銘柄数		10銘柄		



- 注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
- 注2.1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ (1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。
- 注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2018年8月10日) 現在のものです。
- 注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その 後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数(TOPIX)は、東京証券取引所の知的財産であり、 東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止また はTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成し た株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。 また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケッ ト・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配 当込み、米ドルベース)をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財 産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利お よび公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で す。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属 します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加 重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関す るすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対 象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

日米4資産スマートバランス(DC年金)

検索、

https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0966/price.html



各書類の最新版をご確認いただけます。



交付目論見書

当ファンド購入に際して投資 判断に必要な重要事項をご 説明しております。



請求目論見書

交付目論見書より詳細な当 ファンドの情報をご説明して おります。



交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明して おります。



運用報告書(全体版)

交付運用報告書より詳細な 運用状況をご説明しており ます。



海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日を ご案内しております。